

あるユダヤ人が学んだ クリスマスの本当の意味



トム・カンター著

Scantibodies Laboratory社
Scantibodies社 臨床検査室
代表取締役社長・CEO



あるユダヤ人が学んだ クリスマスの本当の意味



トム・カンター著

Scantibodies Laboratory社
Scantibodies社 臨床検査室
代表取締役社長・CEO



本書の聖書箇所・聖句は、新改訳聖書第2版（日本聖書刊行会・いのちのことば社）より引用しています。

著作権 © 2008 トム・カンター
出版 Scantibodies Laboratory社
Santee, CA, USA

あるユダヤ人が学んだ クリスマスの本当の意味

ユダヤ人として成長した私は、クリスマスの本当の意味を理解していませんでした。クリスマスと言えば、「クリスマスツリー」と「ピカピカ光るイルミネーション」と「プレゼント」のほかに、私にはこの休日には、本当はどういう意味があるのか知りませんでした。ある男の子と彼の作ったボートの話を通して、やっと私はクリスマスの本当の意味を理解しました。

ある男の子が、おもちゃのボートを造りました。彼は、10cm×10cm×45cmの大きさの木材を手に入れました。彼はナイフを使って、船の外側とキールを作るため、木のブロックを根気よく削りました。彼は、実際に海洋を航海してい



る船のように、荒海でも安定させるためにボートのキールを長く、細長くしました。彼は、川に彼



のボートを降ろし、高波の中に浮かべたところを想像し、川に浮かべる日を楽しみにしながら作業を続けました。

彼はボートを紙やすりで丁寧に磨き船体とデッキを彼の頬にこすりつけなめらかさをテストしました。彼はその形となめらかさに満足し、次に慎重にボートの外側を白く塗りました。それから、丁寧に船体の外側にまっすぐな喫水線を引き、船体に異なる色を塗りました。ボートのデッキの部分は、天然の木の美しい木目を出すために、薄い色のニス塗って仕上げました。

それから、異なる直径の木の棒を切り、紙やすりで磨き、塗装をして、マストとブームの部分を造りました。またボートの外側に金属フック、リング

とキャップを付けました。次に帆に使うことのできる、織り目の堅い布を捜しました。1枚は主帆用に布を1つ大きく切り分けました。また2つの副帆用に、小さな三角形の形に布を2つ切り分けました。針と太い糸を使って、帆とループの端を縫いました。マストを固定するための細い編まれたひもがきちんと取り付けられると彼はとても満足しました。

次に、彼のボートを部屋に飾っておくことができるように木の飾り台を造りました。帆を取り付けて、彼はボートが荒海の中を、高い波を掻き分けながら進んでいる様子を想像しました。それから、より穏やかな海を軽快にすべるように進んでいるボートを想像しました。彼はそのボートがとても気に入り、毎晩ボートのことを考えながら



眠りました。彼は、心配しながらも彼の家の近くの川で初着水をするビッグデーを期待しながら心待ちにしていました。

ついに、初着水の日がやってきました。男の子は慎重に彼のボートを川の土手に運び、そっとボートを水面に浮かべました。しかし、突然の強風で帆が一杯になり、速い流れに流され、彼のボートは無くなってしまいました。男の子は、川岸を行ったり来たりし、ボートを捜しましたが見つかりませんでした。とうとう、男の子は失意のうちに彼の家に戻りました。ボート無しで。彼は、ボートを失いました。時間が経ちましたが、彼はボートのことを決して忘れませんでした。彼は、心底ショックを受けたので、時間が経っても別



のボートを作る気になりませんでした。
ある日、男の子は彼の町にある古道



具屋の前を歩きました。彼はウィンドーをのぞいて、とても驚きました。彼のあのボートが売物として展示されていたのです。心臓をドキドキさせながら、彼は店に駆け込み、ウィンドーに展示されているボートが彼のボートであると店主に説明しました。彼がそのボートを作り、川でそれを走らせて、それを失ったことを説明しました。

店主は、ボートは私のものであり、ボートが欲しければ5ドル支払わなければならないことを男の子に説明しました。男の子にとって5ドルは大金でしたが、男の子は店主と議論しませんでしたし、また全く躊躇しませんでした。男の子は家に走って帰り、貯金箱を壊して、彼が今まで苦勞して貯めた

5ドルを持ち、ポケットに詰め込んで、走って店に戻りました。店に着くと、彼はカウン



ターにお金を並べました。そこで、店主はボートを男の子に渡しました。

とても喜びながら、男の子はボートを受け取りました。店を出て、道を歩きながら、男の子はボートを目の高さに持ち上げ、ボートに4つ言葉をかけました：

「造ったんだよ。」（僕が、きみを作ったんだよ。）

「無くしちゃったんだ。」（僕は、きみを無くしちゃったんだ。）

「見つけたよ。」（僕は、きみを再度見つけたよ。）

「買ったんだよ。」（僕が、きみを買ったんだよ。）

それから、「僕がきみを作ったんだ。そして、僕がきみを買ったんだ。だから、今、きみは再び僕のものだよ。」と男の子はボートに言いました。

それらの4つの言葉は、私にクリスマスの本当の意味を教えてくださいました





「造られた」

ちょうど男の子が慎重に、またとても丁寧にボートを作ったように、主イエス・キリストは、私たちをお造りになりました。私たちは、ひとりひとり主イエス・キリストによって造られたのです。ヨハネ1章3節には「すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」と書かれています。主イエス・キリストは、いろいろと考えを巡らして、私たちひとりひとりをとても丁寧に造りました。主イエス・キリストは、私たちをコピーとして製作しませんでした。彼は、私たちひとりひとりをオンリーワンの存在として造られました。

私たちと全く同じ人間は二人といません。私たちの顔はお互いに異なって

います。動物の場合も同様です。シマウマの縞模様は一頭ずつ異なっていますし、ヒョウの点模様も一頭ずつに異なります。私たち人間でも、指紋、足の形、皮膚の色、目の色や模様などひとりひとり異なっています。神は納得行くまで、とても慎重に私たちの顔、手と足、心と個性をデザインし入念に造られました。私たちは、ひとりひとり神の傑作なのです。私たちひとりひとりをお造りになったのは神なので、我々の手、足、心と個性などは私たち自身のものではありません。ちょうど、男の子が自分で作ったボートを所有したように、神が私たちをお造りになられたのですから、我々の所有者は主イエス・キリストです。

ちょうど、男の子が水に浮かべるといふ目的のためにボートを作製したように、



主イエス・キリストは、私たちがひとりひとりに異なった人生と目的を持つように、私たちをお造りになりました。

ちょうど、男の子がボートがどのように浮かぶか想像してわくわくしたように、主イエス・キリストは、神が私たちのために用意した素晴らしい人生の目的をどのように満たし、どのような生涯を送るか考えわくわくしました。主イエス・キリストは、私たちをお造りになりました。

「失われた」



しかし、ちょうど男の子がボートを失うというひどい悲しみを経験したように、主イエス・キリスト（すなわち神）は、私たちを失うというひどい悲しみを経験されました。私たちは生命を得るとすぐに、神である主イエス・

キリストのもとを去りました。私たちは、誤った方向へと進みました。私たちは神に「さよなら」と告げ、神の元から離れ、自分勝手な方向へと向かう人生を歩きました。

ちょうど、男の子がボートを失ったように、主イエス・キリストは私たちを失いました。聖書には、イザヤ書53章6節に次のように書かれています。「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」またローマ人への手紙3章23節には「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず」と書かれているように、私たちは皆、罪を犯したためまことの命を失いました。主イエス・キリストは私たちを失ったのです。



「見つかった」

しかし、男の子がボートを再び見つけたように、主イエス・キリストはこの世に来て、再び私たちを見つけました。主イエス・キリスト（すなわち神）は、栄光に満ちた神という地位を脇に置いて、まるであなたや私のような人間となりました。しかし、人となったイエス・キリストは私たちとは異なり何一つ罪を犯しませんでした。彼は私たちと同じように人間としての弱点をも持ちました。私たちと同じように苦しみ、誘惑されました。しかし彼は、決して罪に屈しませんでした

ピリピ人への手紙2章6～8節には次のように書かれています。「キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕え

る者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。」また、イエス・キリストは、何故彼（すなわち神ご自身）が地上に来なければいけなかったのかをルカ19章10節で説明しています「人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」



「買い取られた」

ちょうど男の子が、とても大切なボートを躊躇せずに高値で買い戻したように、主イエス・キリストは私たちをとても愛しているので、私たちを買い戻されました。聖書で最も有名な箇所にも、その方法が書かれています。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を

信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」(ヨハネ3章16節)。しかし、神である主イエス・キリストが、私たちを買い戻すために支払った代価は決して安価なものではありませんでした。彼はご自身の血で代価を支払われました。「贖い出す」とは「代価を支払って買い戻す」と言うことです。第1ペテロ1章18～19節には「ご承知のように、あなたがたが先祖から伝わったむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです」と書かれています。

「造られた」、「失われた」、「見つかった」、「買い取られた」。私はこの4つの言葉から、クリスマスの本当の意味

を学びました。私たちは主イエス・キリストによって造られました。私たちの罪のため、彼は私たちを失いました。彼は私たちを見つけ、私たちを取り戻すためクリスマスの日



に地上にやって来ました。彼は、死ぬために生まれたのです。十字架の上で、イエス・キリストは神であるご自身の血で私たちを買い戻しました。

しかし、私たちとボートの間には1つの大きな違いがあります。私たちはボートと異なり意志を持っています。そして、神は私たちの決定を見守りません。私たちは、主イエス・キリスト（私たちの造り主であり真の神）を私たちの救い主として受け入れるか否か選ばなければなりません。彼は両手を広げて立っています。そして、マタイの福音書11章28節に書かれているよう

に愛と真心を持ってあなたを待っています。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

私たちにできることは、正直な心で彼のもとに行き、自分は罪人であり、神から離れて自分勝手に歩き、神から離れて生きることで人生を台無しにしてしまったということを素直に告白することだけです。必要なのは、私たちの心から出る単純な祈りだけです。「イエス様、私を救ってください。私は自分ではどうしようもない道に迷った罪人です。」

するとたちまち神は、私たちの罪に対する代価である地獄から私たちを救い、私たちを神の子供とし、終わることのない永遠の命を与えてくださいます。私が、主イエス・キリストを私の個人的な主であり、救い主であると認

めたとき、私はクリスマスの本当の意味について理解しました。このことはヨハネの福音書1章11～14節に書かれています。「この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」

男の子は彼のボートに言いました。「今、あなたは再び僕のものだよ。僕はきみを作



ったんだよ。そして、今僕はきみを買ったから、きみは再び僕のものだよ。」これが、再び生まれる（新生）ということの意味です。イエス・キリストが私たちを造ったので、初め私たちはキリストのものでした。2度目は、私たちがイエス・キリストを、ご自身の血によって私たちを買いとった救い主であると認めることによるのです。イエス・キリストは、私たちの罪に対する代価を支払うため、ご自身を無償で提供しました。

ローマ人への手紙6章23節に書かれているように、天国に行くために私たちができることは何也没有ありません。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」また、ヨハネ3章16～17節に書かれているように、この神の愛のこもった贈り物は、神にとって激しい痛みを

伴うものでした。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」

ボートと私たちの大きな違いは、神様が特別な存在として私たちを創造して下さったので、私たちにはこの問題に対して選択する権利が与えられているということです。私たちは、神からの贈り物を受け入れることもできるし拒絶することもできます。イエス・キリストを、自分自身の主であり、救い主であると認めるという決断は緊急の課題なのです。第2コリント人への手紙6章2節に書かれているように、今は救い



の日なのです。「神は言われます。『わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。』確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。」彼をあなたの主であり、あなたの罪からの救い主であると認め受け入れませんか？今日、彼を受け入れませんか？まさに今こそ彼を受け入れませんか？



祈るために、あるいは主イエス・キリストを通しての神の子どもとなることについてより詳しく知りたい方は、著者トム・カントールに連絡をとってください。

tom.cantor@scantibodies.com

TEL: 1-800-247-3051
1-800-279-9181

ヨハネの福音書 1章 11～14節

「この方はご自分のくんに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」



